

NEC
Express5800シリーズ

WebSAM[®] JMSS[®] Ver7.3
クラスタ連携オプション
UL1044-608
UL1044-H608
UL1044-J608

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、「WebSAM JMSS クラスタ連携オプション」をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、セットアップ方法について説明しています。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

また、「WebSAM JMSS クラスタ連携オプション」の説明書として次のものがあります。

- ・「WebSAM JMSS Ver7.3 クラスタ連携オプション ユーザーズマニュアル」

最新情報は、NECサポートポータル(<https://www.support.nec.co.jp/>)にて公開しております。

- ・最新マニュアル、セットアップカード

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170100377>

【JMSS】 マニュアル、セットアップカード

- ・最新リビジョンの紹介

【JMSS】 最新リビジョンを教えてください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3150111020>

Microsoft®、Windows®、Windows Server® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

目 次

ごあいさつ	ii
目 次	iii
1 インストールの準備	1
1.1 システム環境	1
1.2 インストールを行う前に	1
2 インストールの方法	2
3 環境設定	4
4 アンインストール	7
5 注意事項	8
付録 終了コード表	9

1 インストールの準備

1.1 システム環境

オペレーティングシステム	Windows Server 2008 Standard Windows Server 2008 Enterprise Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2016 Standard Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2019 Standard Windows Server 2019 Datacenter
メモリ容量(最小使用メモリ)	2MB 以上
固定ディスク空き容量	3MB 以上

1.2 インストールを行う前に

インストールを行う前に、以下の条件をすべて満たしていることを確認してください。
条件を満たさない場合、インストールが正常に行えない場合があります。

(1) マシン環境の条件

① ドメイン運用の場合

- ・ JMSS 運用コンピュータは、JMSS 運用ドメインに属していること。
- ・ ログオン先は、JMSS 運用ドメインであること。
- ・ ドメインコントローラが正常に起動していること。

② ワークグループ運用の場合

- ・ JMSS 運用ワークグループに属していること。

(2) インストールユーザーの条件

インストールユーザーは、以下のユーザーグループに属していること。

① ドメイン運用の場合

- ・ JMSS 運用ドメインの「Administrators」グループ
- ・ JMSS 運用ドメインの「Domain Admins」グループ
- ・ JMSS 運用コンピュータの「Administrators」グループ（ドメインコントローラ以外の時）

② ワークグループ運用の場合

- ・ JMSS 運用コンピュータの「Administrators」グループ

注意： アンインストールは、インストールユーザーと同じユーザーで行う必要があります。

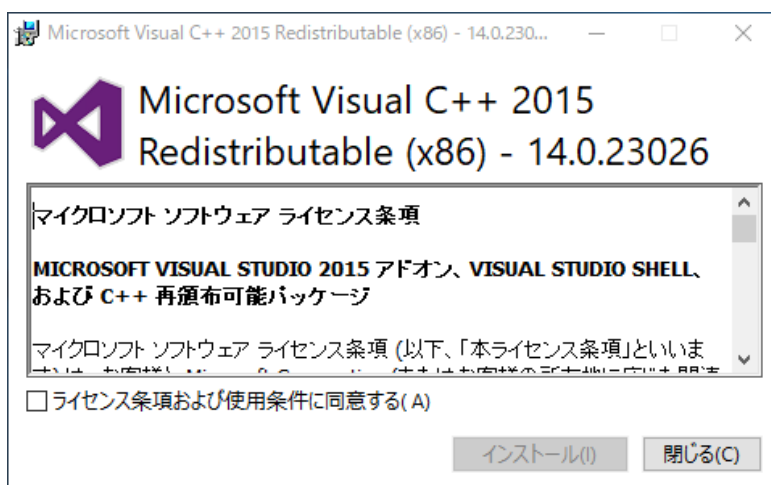
2 インストールの方法

『1. インストールの準備』を必ず読み、インストールの準備を行ってから、インストールを行ってください。

- (1) WebSAM JMSSの製品パッケージに入っているCDのsetup.exeを起動します。
- (2) インストールウィザードが起動されますので、ウィザードに従ってインストールを進めてください。

いくつかのダイアログについて説明します。

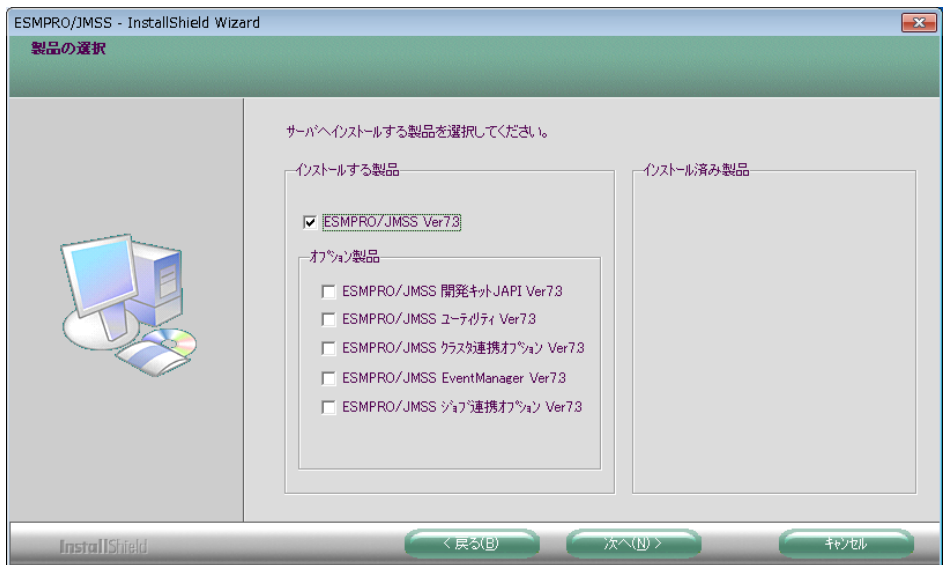
- (a) 「Microsoft Visual C++ 2015 ランタイムライブラリ」適用ダイアログ



Ver7.34以降はインストールおよびJMSSの実行環境でMicrosoft Visual C++ 2015以上のランタイムライブラリが必要になります。このランタイムライブラリがインストールされていない場合、上記のダイアログが表示されますのでインストールを行ってください。

注意： Microsoft Visual C++ 2015以上のランタイムライブラリがインストールされていない場合、インストールが失敗します。

(b) 「製品の選択」 ダイアログ



このダイアログでは、インストールする製品を選択します。

- ・ クラスタ連携オプションをインストールするマシンには、「WebSAM JMSS」がJMSSサーバとしてインストールされている必要があります。
- ・ インストール済みの製品を選択すると、該当製品は上書きインストールされます。

注意： インストール時に万が一、エラーが発生した場合は「付録 終了コード表」を確認してください。

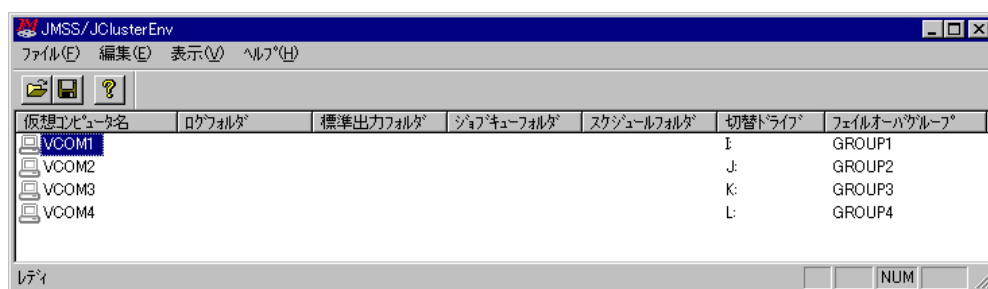
3 環境設定

クラスタ連携オプションの設定は、環境設定ツール(JClusterEnv)で設定します。
すべてのノードで同じ設定となるように設定します。

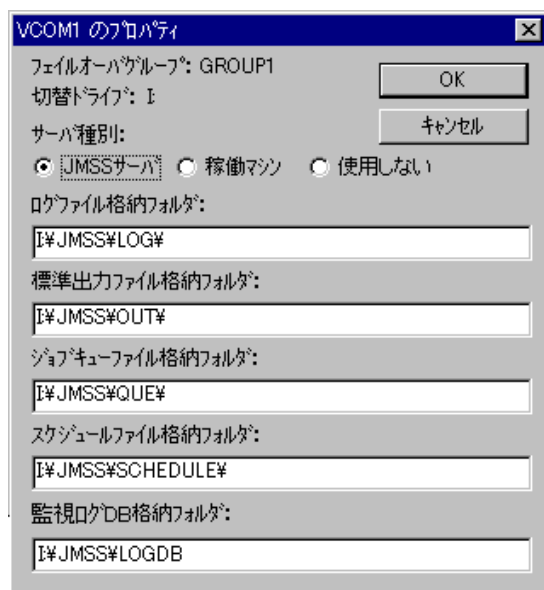
● 1 台目のノードでの設定

[JMSSサーバグループの設定]

- ①[スタート]―[プログラム]―[ESMPRO/JMSS]グループから「JClusterEnv」を選択し、JClusterEnv のメインウィンドウが表示されますので、JMSS サーバとしたい仮想コンピュータ名を選択します。



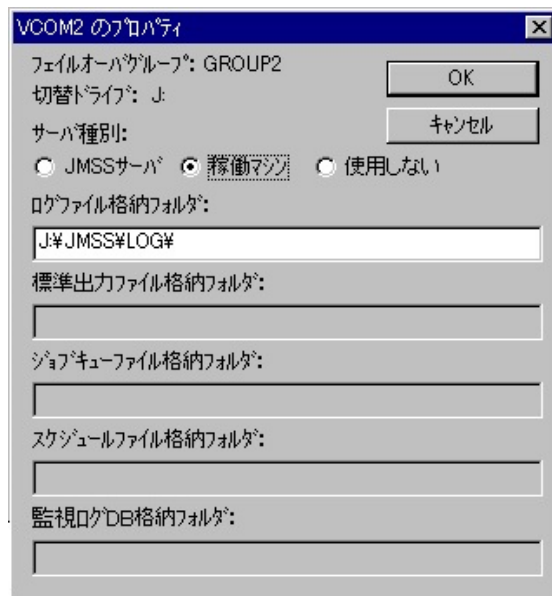
- ②[編集]―[プロパティ]を選択し、プロパティ設定ダイアログボックスが表示されますので、[サーバ種別]から「JMSSサーバ」を選択します。



- ③ログファイル格納フォルダ、標準出力ファイル格納フォルダ、ジョブキューファイル格納フォルダ、スケジュールファイル格納フォルダ、監視ログDB格納フォルダの推奨値が表示されますので、[OK]ボタンを選択します。
- 推奨値と違うフォルダに設定する場合は、それぞれの内容を変更して[OK]ボタンを選択します。格納フォルダは、ダイアログに表示されている[切り替えドライブ]にあるフォルダを設定してください。

[稼働マシングループの設定]

- ④JClusterEnvのメインウィンドウで、稼働マシンとしたい仮想コンピュータ名を選択し、[編集]－[プロパティ]を選択します。すると、プロパティ設定ダイアログボックスが表示されますので、[サーバ種別]から「稼働マシン」を選択します。



- ⑤ログファイル格納フォルダの推奨値が表示されますので、[OK]ボタンを選択します。
- 推奨値と違うフォルダに設定する場合は、それぞれの内容を変更して[OK]ボタンを選択します。格納フォルダは、ダイアログに表示されている[切り替えドライブ]のフォルダを設定してください。
- ⑥[ファイル]-[サービス環境を更新]を選択します。
- ⑦[ファイル]-[CSV形式で保存]を選択し、設定内容をCSV形式ファイルに保存します。
- ⑧[ファイル]-[終了] を選択し、JClusterEnvを終了します。

● 2 台目以降のノードでの設定

- ①[スタート]－[プログラム]－[ESMPRO/JMSS]グループから「JClusterEnv」を選択し、JClusterEnvのメインウィンドウが表示されますので、[ファイル]-[CSV形式の読み込み]を選択し、1 台目のノードで保存したCSV形式ファイルを読み込みます。
- ②JMSSサーバとするグループに設定されているマシンで設定した内容と同じになっていることを確認し、[ファイル]-[サービス環境を更新]を選択します。
- ③[ファイル]-[終了] を選択し、JClusterEnvを終了します。

4 アンインストール

- (1) WebSAM JMSSの製品パッケージに入っているCDのsetup.exeを起動します。
- (2) インストールウィザードが起動されますので、ウィザードに従ってアンインストールを進めてください。

5 注意事項

- (1) インストールについて
本製品より前のバージョンの製品を上書きインストールしないでください。
- (2) 64Bit OS環境におけるインストール先フォルダ
インストール先フォルダとして、"[システムドライブ]: ¥Program Files"、および、そのサブフォルダが選択された場合、無条件にインストール先が"[システムドライブ]: ¥Program Files(x86)"になります。
- (3) インストーラの起動について
インストーラは、同時に二つ以上起動しないでください。二つ起動した場合には、すぐに終了してください。
もしも二つ以上のインストーラを同時に実行した場合には、インストール済みの全製品をアンインストールし、再インストールを行ってください。
- (4) インストーラの動作について
同一リビジョンでの再セットアップ、またはバージョンアップインストールを行うと、一部のフォルダやファイルのアクセス権、及びINIファイルの内容が、インストーラで指定した値や、JMSSの初期状態に変更となります。
○各製品のインストールフォルダ、インストールフォルダ配下のサブフォルダのアクセス権を変更している場合には、必要に応じて再設定ください。
○クラスタ構築ガイドに従って再設定ください。
JClusterEnvを起動し保存する
- (5) クラスタ環境の上書きインストーラの動作について
クラスタ環境の上書きインストールは事前手順が必要です。このため、バージョンアップ・リビジョンアップまたは同一リビジョンでの再セットアップを行う場合は、クラスタ構築ガイドに記載されている上書きインストールの手順を参照してください。

付録 終了コード表

インストール／アンインストールに失敗した場合、「%temp%」フォルダに出力される JMSS インストールログファイル「~JMSLOG.SYS」をご確認ください。インストールログは「-----」（ハイフン 54 個）から始まるため、最後の該当行以降が最後のインストール／アンインストールのログとなります。

「終了コード： 12050」のように記載される行を確認し、該当コードに対応する対処を実施ください。

下記の表において、コードは上段が 10 進数、カッコ内が 16 進数です。

コード	説 明
0 (0)	内容： インストールに成功しました。 対処： なし。
10769 (2A11)	内容： JMSSインストール情報の参照に失敗しました。 対処： JMSSサーバへのインストールが正常に行なわれたか確認してください。
10770 (2A12)	内容： JMSSインストール情報の作成に失敗しました。 対処： JMSSサーバへのインストールが正常に行なわれたか確認してください。メモリが十分か確認してください。
11027 (2B13)	内容： ファイルの作成に失敗しました。 対処： ディレクトリおよびファイルの書き込み属性を確認してください。
11042 (2B22)	内容： 製品情報の削除に失敗しました。 対処： インストールを起動可能なユーザーか確認してください。 レジストリへのアクセス権があるか確認してください。
11265 (2C01)	内容： ドメイン名の取得に失敗しました。 対処： ドメイン環境とドメインコントローラの状態を確認してください。 またはメモリが不足している可能性があります。いくつかのアプリケーションを終了させて再度「ESMPRO/JMSS」のインストールを行ってください。
11267 (2C03)	内容： サービスの作成に失敗しました。 対処： サービスが正常に動作していることを確認してください。 また新規インストールの場合では同名のサービスが存在しないこと、上書きインストールでは同名のサービスが存在していることを確認してください。
11270 (2C06)	内容： 自マシン名の取得に失敗しました。 対処： マシン環境を確認してください。
11522 (2D02)	内容： 「JMSS/ジョブ運用管理」、「ESMPRO/JMSS Enterprise Edition」がインストールされています。 対処： 「JMSS/ジョブ運用管理」、「ESMPRO/JMSS Enterprise Edition」をアンインストールしてから「WebSAM JMSS」のインストールを行ってください。
11523 (2D03)	内容： 使用しているOSでは使用できないインストールツールでインストールを行おうとしています。 対処： 使用しているOSに合ったインストールツールでインストールを行ってください。

コード	説 明
11682 (2DA2)	内容： WebSAM JMSSのインストール情報が不正です。 対処： WebSAM JMSSが正しくインストールされているか確認してください。
11713 (2DC1)	内容： JMSS/JLookログファイルの変換に失敗しました。 (バージョンアップインストール時のみ発生) 対処： JMSS/JLookログファイルが壊れている可能性があります。 今までの監視ログは表示できません。
11714 (2DC2)	内容： JMSS/JScheduleで登録したスケジュールデータの変換に失敗しました。(バージョンアップインストール時のみ発生) 対処： スケジュールデータが壊れている可能性があります。 今までに登録したスケジュールデータは使用できません。
11715 (2DC3)	内容： JMSSセキュリティ情報の変換に失敗しました。 対処： JMSSセキュリティ情報が壊れている可能性があります。 今まで使用していたJMSSセキュリティは使用できません。
11716 (2DC4)	内容： JMSSのSG情報が不正です。 対処： (セキュリティ情報、キュー情報) 前回JMSSインストールからマシン名が変更された可能性があります。
11719 (2DC7)	内容： DLLのロードに失敗しました。 対処： メモリが十分か確認してください。
11720 (2DC8)	内容： 本インストーラで旧バージョンの製品をアンインストールできません。 対処： 旧バージョンの製品をアンインストールしてから本インストーラを起動してください。
12050 (2F12)	内容： システムファイルのインストールに失敗しました。 対処： メモリが十分か、空きディスクが十分かを確認してください。